

島デザイン部



島デザイン部は、建築家の伊東豊雄さんを始めとする伊東建築塾の方々と一緒に、建築やデザインを通して大三島を元気にしようと活動している有志の集まりです。これまで私たちは、様々な分野のエキスパートをお招きし、古い小屋を改修し島民やサイクリストが集える「島の休憩所」を作ったり、島デザイン部のロゴを作ったりしてきました。ここではその活動の一部を紹介します！

《活動紹介》

椅子の製作

「みんなの家」とは東日本大震災をきっかけに、伊東豊雄さんらが中心となって考案した、誰もが自由に集い安らぎを得られる建物のことです。

熊本の被災地に「みんなの家」ができることになり、そこで使用するための椅子を島デザイン部で製作しました。家具デザイナーの藤森泰司さんに御指導いただきながら完成させた椅子は熊本に送られ、被災地の方々にも大変喜んでいただきました。家具一つ一つのデザインの意味や意図、デザイナーの思いについても理解を深めることができました。



家具デザイナー
藤森泰司さん

毎日新聞（H28.10.1付）にも取り上げていただきました。



ロゴ作成



グラフィックデザイナー
藤脇慎吾さん



島のみかんでデザインした「D」の文字



Design(デザイン)の「D」と大三島がモチーフのロゴ

完成したロゴがこちら！



私たちの活動を多くの人に認知してもらうことを目的として島デザイン部のロゴを作成しました。皆で持ち寄った案をもとに、グラフィックデザイナーの藤脇慎吾さんにアドバイスをいただきながら、試行錯誤を重ね完成させました。ちなみに本ページタイトルの「島デザイン部」の文字は、マスキングテープで描いた文字をデジタル化したものです。

島の休憩所

Before



After



概要

「平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の一環として、かつて茶屋として使われていた三村峠にある建物を、地域の方々やサイクリストが集える休憩所として改修しました。部員と伊東建築塾の方で、測量から見学会まで全ての作業を行いました。私たちが行った主な作業を、順を追って説明します！

1. 測量

測量とはメジャーを使って建物の幅や高さ、戸や窓の幅や高さを測り記録することです。この作業が基盤となるため丁寧にを行いました。

2. 図面作成

図面作成では測量のデータをもとに平面図と立面図を描きました。



3. 模型製作

建築家も実際に行っている方法で、作成した図面をもとに20分の1と50分の1の模型を製作しました。



4. 改修作業

図面や模型をもとに改修計画を作成し、改修作業を行いました。壁と天井を抜くことで開放感のある部屋にしたり、明るくするために内装も外装も白く塗ったりするなど、様々な工夫を凝らしました。島の木工さんや塗装屋さん、畳屋さんに専門的な指導をしていただきながら作業しました。



5. 見学会

2017年3月5日に「島の休憩所見学会」を行いました。島の方々や通りかかった人にも参加していただき休憩所改修についてのプレゼンを聞いていただきました。



見学会の案内掲示→



《様々な活動を通して》

活動当初、建築に関する知識は全くありませんでしたが、デザイナーさんや職人さんから専門的な知識や技術について教わるのができ、大変勉強になりました。また、様々な活動をしていく中で、建築やデザインの面白さについても知ることができました。今後は、もっと大三島を元気にするための活動を、建築やデザインを通して行っていきます！